

科目名	こころの科学				担当	遠田 将大		
形態	講義	単位数	2	開講時期	1年後期	実務経験	公認心理師として実務経験有	
必修	—				ナバリング	KD102	DPとの 関連	(幼) 1 (総) 1
授業概要	<p>「こころ」が持つさまざまな役割と共に、適応やストレスなどの過程におけるこころのメカニズムについて理解する。</p> <p>災害時など、非日常におけるこころなどについて対応力をつける。</p> <p>また、長寿化・高齢化する社会における課題として、人間の一生涯におけるこころの変容について加齢（エイジング）の観点から理解していく。</p>							
到達目標 学習成果	こころのメカニズムについて理解すると共に、ストレスやパニックなどに対処できるための知識を身につける。職場での適応など今日的な課題に対する知識を深める。							
授業計画	回	内容						
	1	こころとは何か	「こころ」の不思議について、探る					
	2	こころの誕生	心はどこから生まれるか、脳科学の観点から学ぶ					
	3	こころと体	「こころ」と身体が持つ相互的な影響について学ぶ					
	4	こころと感情	人間らしい感情の発生と「こころ」について学ぶ					
	5	こころと考え	考え方から「こころ」を知る					
	6	自分のこころ、相手のこころ	互いにわかり合う「こころ」について体験的に学ぶ					
	7	こころと仕事	仕事との関わりにあられる「こころ」の変容について理解する					
	8	適応とこころ①	友達関係における適応と「こころ」について学ぶ					
	9	適応とこころ②	職場における適応と「こころ」の変化および対処について学ぶ					
	10	自分を守る	こころが持つ「自分を守る」メカニズムについて学ぶ					
	11	危機とこころ①	危機状況時の「こころ」のメカニズムを理解する					
	12	危機とこころ②	東日本大震災などの危機状況時の事例を通して学ぶ					
	13	互いを守る	人が持つ愛他的行動など「互いを守る」メカニズムについて学ぶ					
	14	人の生き方と人のこころ①	人の生涯の進行、加齢、老齢化などと「こころ」について理解する・小テストの実施					
15	人の生き方と人のこころ②	小テストの講評、人間の一生涯において「こころ」が果たす役割について理解する						
評価基準	みずから考え、意見・発表など含めみずから表現できることを基準とする。積極的に授業に臨むこと。							
評価方法	授業態度 10% 毎回授業時の小レポート 60% 小テスト 30%							
フィードバック 方法	課題については、採点後に返却、講評する							
アクティブ ラーニング	ディスカッション、ディベート、グループワーク、実習、ロールプレイ							
教科書	渋谷昌三 2016「決定版 面白いほどよくわかる！ 心理学」西東社							
参考書	資料なども含め、随時紹介していく							
履修条件	授業において積極的に意見や考えを発表するこころ構えを持つこと また、ボランティアやインターシップなどの場面も含め、積極的に社会に関わる気持ちを持って授業に臨むこと							
授業外学習	日常生活において関心を持った出来事についてみずから調べ学習をすること							
オフィスアワー	原則として授業直後に教室で対応する 希望する学生には e-mail アドレスを伝える							